

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉市立和庄中学校区 校番10 学校名 呉市立和庄中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	適切な目標であり、生徒の実態に応じた目標といえる。
目標達成のための方策の適切さ	A	教員の率先垂範が成果につながっている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	具体的なデータに基づいて適切に評価がなされている。また今後の課題も明らかになっている。 生徒の肯定的な評価が高いのはよいことである。
今後の改善策(案)の適切さ	A	改善策は、全職員が主体的に、具体的に取り組むことが大切である。
その他		防災学習において本来家庭での取組でもあるが、学校の系統的な取組によって、生徒一人一人が自覚し主体的に活動している姿はとてもすばらしい。また、コロナ禍の中、限られた中でも子どもが明るくのびのびと学習・学校生活を送ることができているのが分かった。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	生徒の「立ち止まってあいさつをする」については肯定的にとらえている回答が多かった反面、地域でのあいさつは、不十分な状況である。「あいさつ」の意義を再確認するとともに、全教職員が率先し取り組んでいくことで、自主的にあいさつができる生徒の育成の取組をすすめる。
--------------------	--